

通信制の生徒の自学・自習の支援や学習管理ツールなどを導入し、生徒個人に寄り添った学習環境を充実させたい！

課題



- 「自学・自習を助ける『学習ツール』の開発」
生徒は、基本的に教科書と学習書で自学・自習するので、学習の躓きを解決し、生徒の学びを補佐するA I等の機能を追加したい
- 「レポートの取組等に課題を抱える生徒を適切に把握するツールの開発」
レポート添削や、面接指導を効果的・効率的に実施するため、生徒一人一人の課題を把握し、個に応じた指導を全員に即時に行いたい
- 「通信制課程におけるデジタル人材育成プログラムの開発」
デジタルに関心のある生徒が多数在籍しており、通信制課程におけるデジタル人材育成に向けた教育プログラムを構築したい

背景

- 通信制課程は、勤労青年を主たる対象とし、自学・自習を教育活動の軸として設置された。近年、多様な入学動機、学習歴を持つ生徒が増加し、大規模な私立の広域通信制高等学校数や生徒数が急増するなど、現在、全国で12人に1人の高校生が通信制課程で学んでいる。
- 都では、都立通信制高校運営総合情報システムを構築し、生徒がWEB上でレポート履修・スクーリング等の学習状況を確認できるようにするなど、デジタルを活用した学習環境を充実させている。

現場からのコメント



- 教員の負担軽減にも寄与するシステムを期待している
- 現状のシステムと連携・互換性のある提案が望ましい

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

東京都立新宿山吹高等学校

〔 教育庁都立学校教育部
都立高校改革推進担当 〕

eラーニングシステムmocaを導入している

<https://www.timedia.co.jp/news/20200402-moca/>